

駅前旭町通いを楽しく、歩きやすくするための提言

～市民に優しい歩道は、観光客にも優しい歩道～

松本きよ 長瀬恭子 加藤一貴 井上春信

1. はじめに

2009年、NHK大河ドラマ「天地人」放映により観光客の増加が見込まれる。

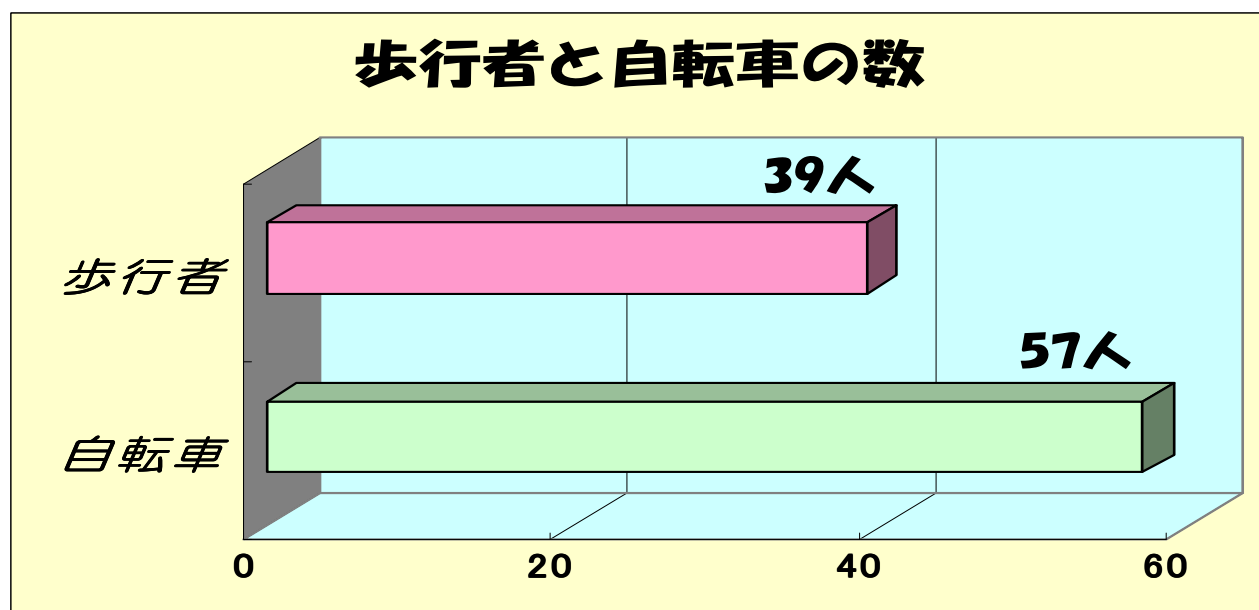
観光ガイドの方の話によると、米沢駅を降りた観光客は、県道である旭町通りを通ることが多いとのことだが、現在の歩道は、歩道の幅が狭く、路面が荒れているところが多い。歩きにくいと感じるところを改善し、上杉の城下町らしい素敵な駅前通りにして、楽しく歩けるような米沢の玄関口にしたい。

2. 現状として

①利用状況

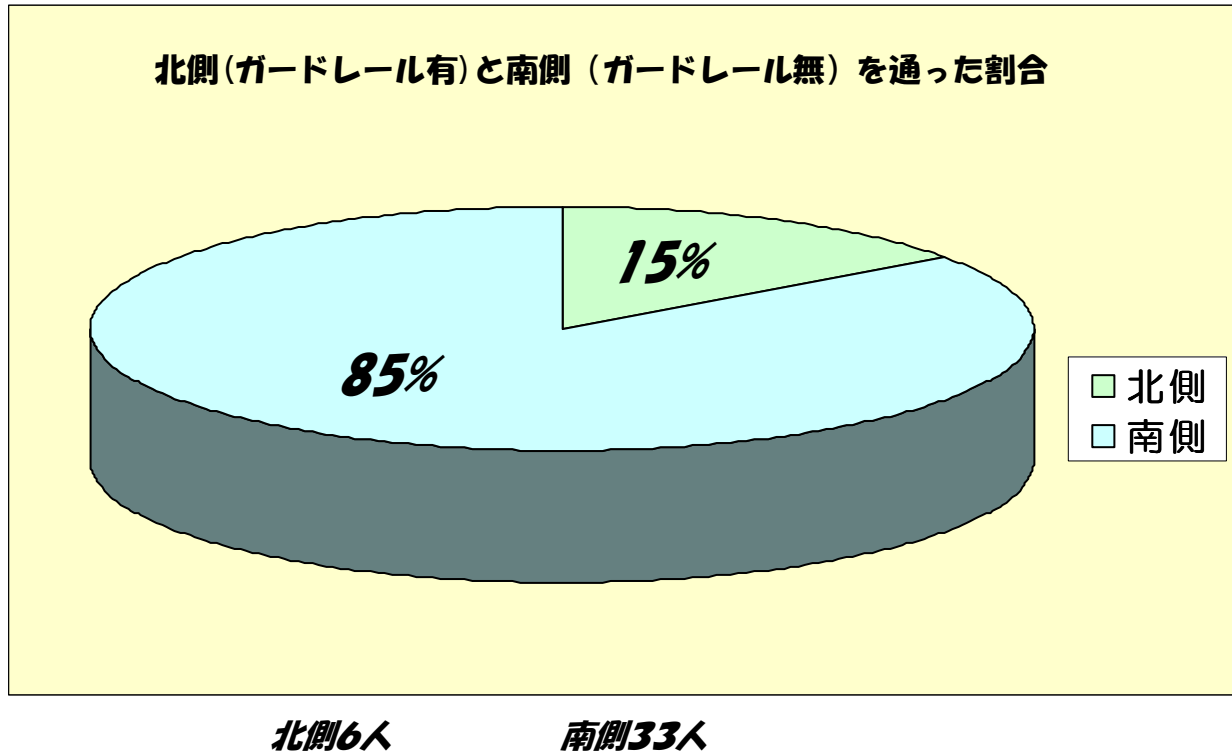
項目1

平成19年11月16日(金)の朝7時から7時45分までの間、歩行者と自転車の数は、以下のとおりであった。



項目2

前期項目の歩行者39人のうち、北側（ガードレール有）と南側（ガードレール無）を通った割合は以下のとおりであり、ガードレールがある方を通った人は予想以上に少なかった。



②問題点

- 歩道が狭く、老朽化が進み、でこぼこが目立つ。
- 車いすの方や、スーツケースを引いた方の通行が困難。
- 歩道の中に電柱があり、歩行者同士のすれ違いがスムーズにできない。
- 冬期間は雪のため、歩道が歩けなくなる。
- 美しさを味わい、楽しみながら歩くには程遠い歩道。

③旭町通り商店街の人々の声

- 歩道の幅が狭い。
- ガードレールが邪魔になる。
- 雪が積もると歩きづらい。
- 自転車が危ない。
- 旭町は淋しい感じがする。
- 道を拡げる工事をするとうり商売ができなくなる。
- フラワーポット等の花は管理が大変。

3、解決策

ソフト面

- 観光客に楽しんでいただくために、紙甲冑と紙人形を各商店やホテルのロビーに置く。
- 雪灯籠祭りの時期に合わせて、旭町通りにも雪灯籠をつくる。
- 空地に米沢を象徴する、うこぎやべに花を植える。
- 歩道にデザインを入れる。(米沢のABC、花笠、べに花、米沢織物、方言、等々)

ハード面

- 歩道の幅を車いすでも無理なく通れるような広さにする。
- 歩道を拡げるために、一方通行とする。
- 電線の地中化。
- 荒れている路面の補修。
- 上杉の城下町らしさを出すために、歩道を石畳にし、歩道も含め、ロードヒーティングを取り入れる。

4、提言

山形県知事

旭町通りは県道なので、ハード面の整備をお願いしたい。

米沢市長

市民の意見を県に伝えてほしい。

旭町通り商店街

私たちがやらなければ、まちは良くなれないということに気づいてほしい。

旭町通り歩道整備対策市民委員会

商店街の人と紙甲冑を作っている人や、花づくり、草むしり等のボランティア団体とのつなぎ役。